



## 開園50周年! 気持ち新たに!



# 寿光園の屋根の下

第139号  
令和2年5月  
発行元  
高清水寿光園

これからも進み続けて、  
変わり続けて。

施設長 柴田 融

秋田県で最初の特別養護老人ホームとしてスタートした高清水寿光園は、令和二年四月、おかげさまで開園五十周年を迎えることができました。これもひとえに、ご利用して頂いている皆様、地域の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と存じます。長い歴史の中の、わずか数年の責しか務めていない若輩者からになります。感謝を申し上げます。

古い記録には、上皇様が皇太子殿下のころ来園された際の写真も残されており。また当時の写真に写るご利用者の皆様は、シルバークルーで散歩される、園庭でゲートボールを楽しまれている方もいらっしゃるようです。現代から見れば、とてもお元気なお姿に見えます。しかし当時は平均寿命が今より十歳以上も若く、核家族化という問題も目立たぬ頃で、百歳も珍しくなくなつた現代とは必要とされたものが違つたでしょう。その後、時代と共に制度も変遷し、介護保険制度がスタートしてからも既に二十年が経ちました。今や物心ついた頃にはスマホで遊んでいた世代が働いています。都市部では外国人労働者の方も多くい

らっしゃいますし、今後は秋田でも、外国人材の方が介護現場で働いていることが普通になると思いますが、その流れは、別の大きな変化に影響されるようです。

それはある意味、かなり強制的な変化を私たちの生活にもたらしている新型コロナウイルスの世界的な流行です。終息までにはまだまだ長い時間が必要だとされ、私たち一人ひとりの行動変容が求められています。高清水寿光園でも面会制限等の対策を講じておりますが、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。また、この対策には職員の方々にも多くの協力をいただき成り立っていることをお伝えさせていただきます。

さて、五十一年目の高清水寿光園は、つい先日十八歳になつたばかりの職員から、七十歳を超える職員まで、百二名の職員でスタートしています。その時々の変化に柔軟に対応して進み続け、ご利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様に安全と安心をお届けし、必要とされるサービスの提供をしてまいります。

今後ともご指導とご鞭撻のほど、よろしく願ひいたします。

# 新任職員紹介・挨拶

調理員として勤務致します。以前よりよくお願いいたします。勤務していた玉葉荘の調理場でも調理員として働いておりました。こちらへ来てからは緊張と不安でいっぱいですが、利用者の皆様へ美味しい食事を提供できるように、精一杯頑張ります。挨拶は最後までしますが、得意料理は炒飯で、趣味はゲームと音楽を聴くことです。



調理員 戸井田 恭兵

顔と名前を覚えて、生活のお手伝いができるよう頑張ります。よろしくお願いします。



介護員 山本 美紀

初めての生活ですが、利用者様から異動してきていただきました。宏明と申します。特養での業務は多くありますが、利用者様の生活に寄り添っていきたく思います。よろしくお願いします。



介護員副主任 高橋 宏明

早く業務を覚えたいと思います。日々頑張りたいです。また、余裕がもてるようになりたいです。自分なりに考えるなどしていきたいです。これから、よろしくお願いします。



調理員 村上 涼

者の皆さんが安心して生活できるようにサポートしたいです。よろしくお願いします。



介護員 佐々木 美紅

一期一会を大切に、利用者様に寄り添っていきたく思います。どうぞ、よろしくお願いします。



介護員 須合由美子

## 医務室からのお願い

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力ををお願いします。

### 3つの「密」を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面



新型コロナウイルスの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて当園では面会制限を行っており、ご家族をはじめ地域の皆様にはご迷惑をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

このような状況の中でも、現時点で園内での感染症の発症者はおらず、無事に皆様と一緒に春を迎えられたことを大変嬉しく思っております。今後も感染対策を徹底し、新たに加わった職員とともにご利用者様に寄り添って参りますので、本年度もよろしくお願いいたします。(広報編集委員一同)

編集後記

### 「新しい生活様式」の実践例

#### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするとき、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

#### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い、手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養



#### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

##### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて早く済ませる
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

##### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅や個室を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違ふときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

##### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

##### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお箸の回し飲みは避けて

##### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

#### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定